

## 情報公開文書（オプトアウト文書）

## 「救急病棟における自傷他害ケースの特徴と治療アウトカム」へのご協力をお願い

神奈川県立精神医療センターは地域の拠点病院として精神科救急医療において中心的役割を果たしております。救急病棟には病状によって自傷（自分を傷つける）・他害（他者に危害を加える）を認める患者さまも入院されます。そのような患者さまに関する調査を行い、どのような治療を提供すべきか検討し、医療の質向上を目指します。

研究課題名	当院救急病棟における入院患者の動向について
研究の対象	2016年4月1日から2023年3月31日までに当院救急病棟に入院された方を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	入院時に自傷・他害を認める患者さまの臨床的特徴、治療内容、転帰などを調査し、今後の医療の質の向上に役立てたいと考えています。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報外部に漏れることはありません。プライバシーには十分に配慮します。
研究期間	承認日～2024年3月31日まで
研究に使用する試料・情報の種類	診療録より J-BADO に入力された項目（年齢、性別、入院の経路、入院形態、診断、重症度、自殺暴力関連事象、在院日数、退院時の改善率、転帰など）
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：救急診療部長 森脇 久視
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	森脇 久視（神奈川県立精神医療センター）

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022年4月1日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は神奈川県立精神医療センター内で実施しております。研究者は企業等から独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんでご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先： 研究責任者 救急診療部長 森脇 久視  
地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
神奈川県立精神医療センター  
総務課 倫理委員会事務局  
Tel : 045-822-0241